

菊池短歌会

1月詠草

母の齢はるかに越えて大根を引くと踏ん張る力の
限り 岩木 妙子
小春日の山路に熟るる菜菔の実を食ふれば甘し澁
しなつかし 岩永 典子
冬眠と思しし裸木それぞれの角芽はぐくみ空さし
てをり 氏岡 百枝
雪もなくあつと言ふ間の初日の出急ぎカメラの
シャッターを押す 川口すみ子
八笈岳冬空のもと鎮まれり錆色遠くにただ鎮まれ
り 古賀 勝士
商ひの喧騒の日もはるかなり独り聴き入る百八ッ
の鐘 山代 静子
健やかに可愛ゆく老いよと長男の嫁は我が爪マニ
キュアし呉るる 中川 愛子
「ラストワルツ」歌ひ終わりに満場の大き拍手に
暫し目を閉ず 山内 直子
雪のごと世の禍ごとくも消えて欲し気持新に春は待
たむを 余語やす子
どの様に押し返すべし追憶をたたみて受苦の越冬
すみれ 怒留湯健替

万句の里俳句会

1月句会

しきたりに従ふ心若菜摘む
あの雲の下は故郷初御空 高木 陽子
灰色の一枚の空冬の雨 鋤本 トミ
日の出づる山を恵方と拝みけり 田中ひさ子
旧友と逢ふ約束の春を待つ 稲田 鈴子
竹林の風の中より笹子鳴く 東 鈴子
新しきエプロンつけて初霜 斉藤 貴恵
神鈴の鳴ればかがやく霜雫 梅田 昭子
漢籍の書架仄暗く寒に入る 光本とよいち
大空にはばたく兆し冬木の芽 小山 照子
今朝の雪大地の動き止めており 田中 美智
一輪の香り尊き梅の花 吉井 綾子

肥後狂句桜会

1月例会

こまごまとよかヘルパーの来なはった 須藤 新生
大急ぎ駅のホームですするソバ 光堀 善教
楽なもん パット出て来る電子辞書 太田 雄三
休眠中山は静かな雪景色 荒木 玄海
こまごまと日記綴るも最初だけ 藤由 藤紫

泗水短歌会

1月詠草

楽なもん足アジョギングで鍛えとる 小川 繁美
休眠中油断はならん活火山 狩野 本六
非常口ガラクタ置いておごられた 田尻 浩風
こまごまと今の農家は多目的 安武 二山
休眠中ひらくちがびくりともせん 高倉 新米
大急ぎ寒で蛇口の破裂した 東 栄次
こまごまと言うけん孫に嫌わるる 藤野 清子
鞍岳は雪を粧いいつもより凛凛しく気品溢ると仰
ぐ 内田つね代
菊池杜に今朝も夫と来鍛練と呼吸深く吸い石段昇
る 高藤タツノ
白梅の蕾わずかに目に見ゆる今年の花を心待ちい
る 中山 定子
戸障子を開くれば一面墨絵音なき視野に牡丹雪舞
う 福原美智子
昭四・八・十二二十年の児の賀状元気にあれとう
元気に生きん 藤本のり子
大雪に白衣を着けし竹山の風が吹くたび踊りに踊
る 宮本 峯子

せせらぎ俳句会

1月句会

それぞれの行事書き込む初暦
娘の声に似て来し孫の初電話 服部 静子
なつかしやテレビの中のもぐら打ち 藤本アツ子
半世紀続きし句会寒椿 吉岡 民子
偕老の二人三脚去年今年 村山 数恵
悪しき夢叩き落として布団干す 藤本 邦治
賀状幾枚タイムスリップの友の顔 五丁 義昭
祖父と作る父無き孫の雪達磨 渡辺 宏
蠟梅の馨り始めし庭に佇つ 寺本 和子
注連貫ひ身に余る竹引きざる児 坂本まつえ
百歳の婦も健かに初句会 渡辺満喜子
凍鶴の田圃狭しと下り立てり 渡辺 白魚
初句座の待たるる一ト日ひと日かな 内村 鈴子
大寒に耐ゆべく晩酌熱くせよ 内村 泊虹
雪の玉太くなりすぎ持てないな 小六 渡辺 一史
ろてんぶろに降る雪みんなすぐにとけ 小六 渡辺 大寿

七城短歌会

1月詠草

そらーいかん 目立たん内に式上げにや 千 笑
つくれんこつ 仲取り持つて恨まれた 五 女
つくれんこつ 言うけんまアた左遷たい 左 党
てれんばれん 飯だけは忘れんで喰う 英 坊
そらーいかん 品は良かけどデザインが 江 彩
そらーいかん 離婚話の出にやええが 水 光
そらーいかん 飲むのはよかが梯子では 乗 仏
てれんばれん 持つとるとこれまた買った 三 代
ぞろびかせ 昔はヤンキーしよらした 美 由
ぞろびかせ うっぱずれとる兵子ん紐 好 茶

旭志文芸俳句会

1月詠草

起き抜けに玻璃窓越し見ゆる積雪の紅山茶花の一
際朱し 緒方 寛子
来客に樋の修理を忘れるし事に気が付く宵の雨音 佐々 重弘
待つ事の多くなりたる今年未だ緋の肥後椿の蕾は
固し 堀 甲子
病癒え米寿の新年迎えつつ我は仏壇の前に懇ろ 岩津 涼子
野仏を彩る畦の草もみじ 芹川のり子
初霜やするとく光る明けの星 出田みどり
中学生の御点前もあり文化祭 東 芳子
短日を余さず使う老の知恵 岩根サチ子
銀杏散る初冬の風にはらはらと 郷 ミヤ子
霜月や母の忌修すひとり飲け 芹川 蓉子
すり鉢を孫が手伝ひとろろ汁 水谷 ミネ
味噌麹厨辺の匂ひほのかなり 中山 栄子
ひぐらしの声を悲しと思ふ日よ 工藤 房子
冬菜一株抱えしままに立話 中尾ヨシコ

肥後狂句水笑会

1月例会

そらーいかん 医者どんに行け医者どんに梅 月

病室を訪えぼうからに囲まるる笑顔の恩師に手を
指し伸ばす 木下 陽子
小学生四人と聞き居しもぐら打ち幼児等加わり庭
坪一杯 池田カツ子